

令和7年度に指定期間満了予定の施設の管理運営状況総括のまとめ

【総合評価の結果】

S評価：0件 A評価：5件 B評価：5件 C評価：0件 合計：10件

総合評価がAの施設							総合評価	サービス向上	利用状況	利用者満足度	収支状況	業務遂行能力	特記事項	
ページ数	施設名	指定管理者	所管課	指定期間(年数)	評価期間(年数)	管理の有効性								
P1 ～ P10	県民ホール (本館・神奈川芸術劇場)	(公財)神奈川芸術文化財団	文化課	R3.4.1 ～ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ～ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理期間4期目にあたる今期は、3期目に引き続き、県民ホール本館、神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂の3館を一体的に運営する形で、効率的・効果的な指定管理業務の実施について取り組んできたところである。</p> <p>施設の維持管理については、事業計画や仕様書に基づき適切に行われているほか、新型コロナウイルス感染症に係るガイドラインの運用廃止後も、館内の消毒や、スタッフのマスク着用などを実施し、安全安心な施設運営に努めた。</p> <p>その結果、令和5年度の2館合計の利用者数は715,719人となり、特に県民ホール本館についてはコロナ禍以前の水準にまで回復した。</p> <p>運営面では、多様な利用者ニーズに応えるため、キャッシュレス決済の導入や飲食スペースの充実、鑑賞サポートの充実などを図り、利用者満足度調査においては令和3年度から5年度までの3か年平均で98.6%の利用者が「満足」と回答した。</p> <p>苦情・要望等には前向きな対策を講じ、神奈川芸術劇場で以前よりしばしば苦情の原因となっていた座席からの見え方については、「注釈付き座席」などと設定し、事前に説明をしてから販売するなど、来館者の利便性向上に努めた。</p> <p>令和3年度には、「文化施設があらゆる人々へ開かれた場となること」、「文化芸術を通じた地域との連携強化」の実現に向けて、社会連携ポータル部門を新設し、県内文化施設等と連携したアウトリーチ型公演や、インターンシップの実施など、周辺地域との連携強化や、将来の文化芸術分野を担う人材育成に取り組んだ。</p> <p>上記のとおり、管理運営状況は良好であると認められる。</p> <p>県民ホール本館については、令和7年4月より休館することが決定しており、今後の管理形態は未定だが、神奈川芸術劇場については、引き続き指定管理者による施設の維持運営・事業実施が適切であると考えられる。</p>	A	A	A	S	B	B	<p>(利用状況)</p> <p>□指定管理者が作成する広報誌(神奈川芸術プレス)のほか、ホームページ、SNSを通じた広報・PR活動などを積極的に行い、入場者数の確保に努めた。</p> <p>□神奈川芸術劇場では令和3年度より長塚芸術監督が就任し、豊かなプログラムを提供する枠組みとしてシーズン制を導入し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。</p> <p>□新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や入場制限を余儀なくされた公演も多数あったが、その影響を最小限にとどめることができた。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□国庫補助金や助成金、賛助会員制度の運営、個別協賛、広告協力などにより、外部資金の確保に努めている。</p> <p>□電気のコまめな消灯などの日々の節電に加え、建物・設備のライフサイクルコスト低減に向け、定期点検を実施するなど、長期目線での経費節減にも取り組んでいる。</p>
P19 ～ P24	神奈川近代文学館	(公財)神奈川文学振興会	文化課	R3.4.1 ～ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ～ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。</p> <p>利用状況及び収支状況については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用制限を行っていた時期には減少しているが、制限等が緩和され始めた令和4年度からは回復傾向が見られ、今後も積極的な事業展開を継続することで、利用状況及び収入の向上が見込めると考えられる。</p> <p>また、利用者満足度調査では例年「満足」と答えた利用者の割合が9割を超えており、真摯な運営を行っていることが認められる。</p> <p>神奈川近代文学館は、本県にゆかりのある貴重な近代文学資料を県民の共有財産として収集、保存、展示することを目的として設置された施設であり、(公財)神奈川文学振興会は本施設を効果的に運営する母体として設立された組織である。長年にわたる文学関係者やその遺族などとの信頼関係を基礎とした施設の運営がなされており、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。</p> <p>このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。</p>	A	A	B	S	A	A	<p>(利用状況)</p> <p>□令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行った影響で、目標値には達しなかった。</p> <p>□制限等が緩和され始めた令和4年度からは回復傾向が見られる。</p> <p>□自主事業は文芸講演会や文学講座、文豪ゆかりの地をめぐる文学散歩など施設の設置目的に合致した事業が行われている。</p> <p>□コミックスやゲームとのコラボレーションを実施することで利用者層の拡大に向けた取組も行っている。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□展示内容や手法を工夫したり、人出の落ち込む閑散期にコミックス等とのコラボレーションを実施することで一定の収入を維持している。</p> <p>□新型コロナウイルス感染症による制限等が緩和され始めた令和4年度からは計画額を上回る収入となっている。</p> <p>□照明のLED化や電力契約の見直しなど、省エネのための対応を順次行っている。</p>
P31 ～ P36	神奈川県ライオンセンター	日本赤十字社	障害福祉課	R3.4.1 ～ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ～ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理制度による管理運営状況の総括を行い、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。</p> <p>また、毎年実施している利用者満足度調査において、非常に高い利用者満足度を維持している一方、施設の管理運営経費の節減などの効果が認められ、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。</p> <p>このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。</p>	A	A	B	A	A	A	<p>(利用状況)</p> <p>□施設内のみならず、地域に出向く取組も積極的に実施している。</p> <p>□図書貸出実績は、若干減少傾向にあるが、これはインターネット上の「サピエ図書館」の普及が一因と考えられる。ライトセンター作成の図書はサピエに提供しており、その利用件数は増加している。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□当施設は、利用者からの利用料を徴収しない情報提供施設。</p> <p>□経費節減にあたっては、実務担当者を増やしたり非常勤化を進めることで人件費を抑制しつつサービスの充実を図るとともに、徹底した節電やペーパーレスの推進等に取り組んでいる。</p> <p>□また、直接収支には表れないが、当施設の運営は、組織化されたボランティア(視覚障害援助赤十字奉仕団)により支えられており、特に情報提供の要である点訳や音訳は、そのほとんどをボランティアが担っている。指導訓練事業、スポーツ事業、ボランティア育成事業、普及啓発事業においてもボランティアグループが一体となって事業を実施している。</p>
P37 ～ P42	神奈川県聴覚障害者福祉センター	(社福)神奈川聴覚障害者総合福祉協会	障害福祉課	R3.4.1 ～ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ～ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。また、満足度調査の集計結果から、情報発信、職員の対応、清掃等施設管理について、利用者が満足していることが認められ、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。</p> <p>このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。</p>	A	A	S	S	A	A	<p>(利用状況)</p> <p>□ホームページ等を活用した広報、「聴障センターまつり」の開催及び地域に出向いて聴覚障害関係の情報提供や事業紹介などに努めている。</p> <p>□自主事業として実施している手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、派遣件数が堅調に推移している。</p> <p>□引き続き、積極的に利用促進に向けた取り組みを行っていく必要がある。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□聴覚障害者の社会的自立を支援する施設であり、事業収入は手話通訳者及び要約筆記者の派遣費用等であり、利益を目的としたものではないため、収入増加に向けた取組は行っていない。</p> <p>□節電の徹底やLED照明の導入等により、経費の節減を図っている。</p>

P85 ～ P90	神奈川県女性 自立支援施設 (女性保護施設)	(社福)神奈川県 民生福祉協会	共生 推進 本部 室	H28. 4. 1 ～ R8. 3. 31 (10年)	H28. 4. 1 ～ R5. 3. 31 (8年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、安全対策マニュアルや防災マニュアルの点検や改定を行い緊急時に備える等、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。</p> <p>また、利用者へのサービス向上に向けた取組として、健康状態を把握し必要な医療を受けるための支援や、服薬管理を行ない、栄養バランスを考慮した食事の提供や栄養相談を実施し、利用者の健康な食生活のサポートが行われていることを確認した。施設内研修や外部講師による研修を実施し、職員の専門的な知識や技能の向上を図り、退所者の自立支援に向けた取組が認められ、指定管理制度による管理運営は有効であると評価できる。</p> <p>このため、引き続き指定管理制度により、施設の管理運営を行う。</p>	A	A	—	A	A	A	<p>(事故・不祥事等への対応)</p> <p>□令和3年度、令和4年度に発生した不祥事から得た教訓を踏まえた改善の取組を、平時の取組として継続しながら適正な運営に努めている。なお、令和5年8月の職員研修では、「令和3年度・4年度発生事案から得た教訓を風化させないために」と題して、発生事案の内容と取組を振り返り、職員の意識啓発を図る機会を設けた。</p> <p>□令和5年度以降大きな事故は発生していない。過年度の事故・不祥事後については、利用者の立場に立った対応であり、適切である。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□措置費を基本にした指定管理料を主な収入源として運営している。</p> <p>利用者の要望に応えるために、施設のサービス内容を見直し、充実させるため利用者の声を聞くなど定期に行っている。また必要な設備の改善を行い、より快適な環境を提供できている。女性支援団体活動支援協力金、原油価格高騰による経費増加分の補填など、収入増加に係る申請を行った。</p> <p>□施設の維持、保守等においては定期的な点検等を行い、設備の修繕、改修等においては、故障による備品や設備の更新を行った。経費節減だけでなく、婦人保護施設の環境負荷の低減や効率化に考慮し、婦人保護施設の特長やニーズに応じて行った。</p>
-----------------	------------------------------	--------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	---	--	---	---	---	---	---	---	---

総合評価がBの施設

ページ 資料 2 ～ 2	施設名	指定管理者	所 管 課	指 定 期 間 (年数)	評 価 期 間 (年数)	管 理 の 有 効 性	評価理由及び今後の対応	総 合 評 価	サ ー ビ ス 向 上	利 用 状 況	利 用 者 満 足 度	収 支 状 況	業 務 遂 行 能 力	特 記 事 項
P11 ～ P18	音楽堂	(公財)神奈川県 芸術文化財団	文 化 課	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31 (5年)	R3. 4. 1 ～ R5. 3. 31 (3年)	有	<p>指定管理期間4期目にあたる今期は、3期目に引き続き、県民ホール本館、神奈川県芸術劇場、神奈川県立音楽堂の3館を一体的に運営する形で、効率的・効果的な指定管理業務の実施について取り組んできたところである。</p> <p>施設の維持管理については、事業計画や仕様書に基づき適切に行われているほか、新型コロナウイルス感染症に係るガイドラインの運用廃止後も、館内の消毒や、スタッフのマスク着用などを実施し、安全安心な施設運営に努めた。</p> <p>その結果、令和5年度の利用者数は111,662人となり、対前年度比で38%増となった。</p> <p>一方、目標達成率は84.1%で、コロナ禍の影響を完全に払拭したとは言えない結果となった。</p> <p>コロナ禍においては、「人数制限が厳しすぎる」や「感染対策が不十分」など、新型コロナウイルス感染症関連の苦情が多かったが、政府や都道府県の基準に準拠したガイドラインを作成し、それに基づき適切に対処した。</p> <p>また、収入増につなげるため、公益目的の利用（芸術文化に係る公演等）が見込まれない場合は、ホールを講演会や研修会等での利用に積極的に貸出すなどの工夫をした。ホワイエ等建物の空間を使った雑誌や広告の撮影、ホールを使用したドラマや映画の撮影の要望も増えており、今後新たな収入源としての活用を検討している。</p> <p>紅葉ヶ丘一帯の活性化を図る「紅葉ヶ丘まいらん」では、紅葉ヶ丘公立文化施設5館を周遊するスタンプラリーを実施するなど、地域活性化に取り組んだ。</p> <p>上記のとおり、管理運営状況は良好であると認められ、今後も引き続き指定管理者による施設の維持運営・事業実施が適切であると考えられる。</p>	B	A	C	S	B	A	<p>(利用状況)</p> <p>□指定管理者が作成する広報誌（神奈川県芸術プレス）のほか、ホームページ、SNSを通じた広報・PR活動などを積極的にを行い、入場者数の確保に努めた。</p> <p>□「紅葉坂プロジェクトVol.3」では、より多くの人に興味を持ってもらえるよう、作品の創作過程を公開するワークインプログレスを実施し、翌年の本公演に向けて土台を作った。</p> <p>□教員に向けた合唱、打楽器ワークショップや、小学校への派遣授業などアウトリーチにも力を入れ、音楽に興味を持ってもらうきっかけを作った。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□国庫補助金や助成金、賛助会員制度の運営、個別協賛、広告協力などにより、外部資金の確保に努めている。</p> <p>□公益目的の利用（芸術文化に係る公演等）が見込まれない場合は、ホールを講演会や研修会等での利用に貸出し、利用料収入の増加に努めた。</p> <p>□電気のコまめな消灯などの日々の節電に加え、建物・設備のライフサイクルコスト低減に向け、定期点検を実施するなど、長期目線での経費節減にも取り組んでいる。</p>
P25 ～ P30	かながわ労働 プラザ	(公財)神奈川県 労働福祉協会	雇 用 労 政 課	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31 (5年)	R3. 4. 1 ～ R5. 3. 31 (3年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の利用状況及び収支状況については、新型コロナウイルス感染症が拡大する中においても、より効果的な利用促進の取組や経費削減の実施ができたことに加え、その他の面でも適切な管理運営が行われている。</p> <p>また、地域と連携した魅力ある施設づくりを進めるなど、指定管理者による事業実施の創意工夫を確認することができ、県直営の施設とは異なる手法によるサービスの質の向上について効果が認められ、満足度調査でも高く評価されているなど、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。</p> <p>このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。</p>	B	A	C	S	B	A	<p>(利用状況)</p> <p>□3年度とも、ダイレクトメールや広報用はがきによる広報、Facebookを活用した情報発信、「プラザ通信」（年3回）及び「労働情報コーナーだより」（年6回）を発刊し、利用者の拡大に努めた。</p> <p>また、令和4年度はホームページのリニューアルを行い、スマートフォンに対応するなど、利用しやすさを向上させた。</p> <p>□自主事業として、設置目的である労働者の福祉の増進を図り、文化活動の場を提供するため、文化教養・健康・資格取得などの講座を実施した。令和3年は35講座で延5,345人、令和4年度は30講座で延4,345人、令和5年度は33講座で延5,992人が受講した。</p> <p>□これらの取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出の自粛や、企業の会議の在り方の変化などにより、利用者数の対目標値は、令和3年度は38%、令和4年度は50%、令和5年度は47%と低い状態が続いた。社会情勢の変化の影響を大きく受け、結果はC評価となったが、利用促進に向けた取組は確実に実施されている。</p> <p>(収支状況)</p> <p>□令和3年度は神奈川県からの要請で一時期閉館時間を早める措置を行ったこと、令和3年度から令和5年5月までは、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とした予約キャンセルについて、従来のキャンセル可能期間を過ぎた予約のキャンセルに応じるとともに、前納された利用料の還付や、従来であれば発生する利用料をなしとする措置を取ったこと、コロナ禍に企業の会議の在り方が変化したことにより令和5年度も利用状況が低調であったことなどから、収入は減少したが、ダイレクトメールでの周知やホームページのリニューアルなど利用促進の取組は確実に実施されている。</p> <p>□利用が少ない時間帯のエレベーターや機械式駐車場の使用台数を制限したり、利用者が利用した後の消灯を徹底するなど、経費節減に努めている。</p>

P43 ~ P72	神奈川県総合 リハビリテー ションセン ター	(社福) 神奈 川県総合リハ ビリテーショ ン事業団	県立 病院課	H28.4.1 ~ R8.3.31 (10年)	H28.4.1 ~ R5.3.31 (8年)	有	<p>※センター全体で、施設の利用状況はC評価、利用者満足度の状況はA評価とする。 指定管理期間中に、センターの再整備による施設の再編・統合、令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症の影響や令和4年度以降の光熱費の高騰など、施設を取り巻く状況が大きく変化する中、収支を均衡させるなど、安定的に施設を運営したことについては評価できる。 また、新型コロナウイルス感染症への対応や「かながわりハビリロボットクリニック」における筋電義手をはじめとする取組みなど、県の施策においても重要な役割を果たしている。 一方で、指定管理期間中、福祉施設における職員による虐待認定事案が発生し、改善を要する年度も複数あったが、その都度、改善計画の更新等、適切な再発防止策を講じている。 以上のことから、総合評価はB評価とした。 こうした評価を踏まえ、指定管理制度による管理運営は有効と考えられるため、引き続き指定管理制度による管理運営を行う。</p>	B	A	C	A	A	A	<p>(利用状況) □七沢学園(児童・入所) 児童相談所と連携をしながら、措置入所や緊急一時保護の児童を受け入れ、概ね目標値の9割程度を維持している。 □七沢学園(児童・地域支援(短期入所)) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、短期入所の利用を制限したため、大幅に利用が落ち込んだが、令和4年度から段階的に再開している。 □七沢学園(成人・入所) 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、体験実習を制限したことにより、入所希望者の減少し、令和4年度は利用率が低下したが、令和5年度は回復傾向にある。 □七沢学園(成人・地域支援(短期入所)) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、短期入所の利用を制限したため、大幅に利用が落ち込んだが、令和4年度から段階的に再開している。 □七沢療育園(入所) 短期入所のニーズに応えるため、短期入所枠を拡大し運用した結果、若干ではあるが目標値には届かない数値で推移している。 □七沢療育園(地域支援(短期入所)) 新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に短期入所を制限したことから、令和2年度及び令和3年度は目標値に届かなかったが、その他の年度は目標値を大きく超える利用を維持している。 □七沢自立支援ホーム(入所) 医療機関訪問や福祉関係施設等と連携し、利用者確保に努めているが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用の制限及び外泊・外出の制限が影響し、利用率が低下している。 □七沢自立支援ホーム(地域支援(短期入所)) 新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限及び短期利用の希望者の減により利用率が低下している。 □神奈川県総合リハビリテーション病院(入院) 新型コロナウイルス感染症の影響を通年で受けた令和2年度から令和4年度にかけては、目標値の9割を下回ったが、徐々に回復傾向にある。 □神奈川県総合リハビリテーション病院(外来) 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な外来者の受け入れはできず、患者の受診控えもあったため、平均では目標値の7割程度となっている。</p> <p>(収支状況) □新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、感染拡大防止対策を講じつつ、可能な限りの患者・利用者確保に努めるなど収入確保に取り組んでいる。 □経費節減については令和4年度以降の光熱費の高騰などの影響を受けつつも、収支比率においてマイナスを生じさせなかった。</p>
P73 ~ P78	足柄ふれあいの村	(株) アグサ	子ども 教育支 援課	R3.4.1 ~ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ~ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。 協定等に定める業務基準や事業計画に沿って着実に取り組んでおり、施設の管理運営に求められる水準は維持されている。また利用者満足度調査でも「満足」以上が平均して98.6%となっており、利用者からも評価を得ている。 指定管理者の運営努力により毎年度の支出を抑えながらも、施設の老朽化に対応し、小規模な修繕を実施していることから、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大幅に利用者が減少したが、その後回復を続けていることに加え、集客に向けて様々な取組を行っているため、令和6年度以降は利用者数の増加を見込むことができる。それ以外の項目はSまたはA評価であるため、指定管理者制度による管理運営は有効に機能していると判断できる。 このため、引き続き指定管理者制度による管理運営を行う。</p>	B	A	C	S	A	A	<p>(利用状況) □新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度を底に利用者が大幅に減少したが、R3、R4年度は感染症対策を徹底するなど対応に努めた結果、着実に利用者数を回復させている。R5年度については、学校利用の減少によりコロナ前の水準へは戻っていないものの、過去利用団体へのPRなどに努め、回復傾向は継続している。 □ホームページ、広報誌等を媒体とした広報活動に積極的に取り組み、SNSでの発信を強化している。</p> <p>(収支状況) □新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、R2年度には利用料金収入が目標の8.8%まで低下しているが、利用者からの意見・要望を積極的に取り入れて運営を改善することで、利用者数の回復を進め、R5年度には目標の63.0%となっている。 □大幅な収入減の中で、人員配置や施設修繕の計画精査などを機動的に行い、経費節減に努めている。</p>
P79 ~ P84	愛川ふれあいの村	東急コミュニ ティー・国際 自然大学校グ ループ	子ども 教育支 援課	R3.4.1 ~ R8.3.31 (5年)	R3.4.1 ~ R5.3.31 (3年)	有	<p>指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。 協定等に定める業務基準や事業計画に沿って着実に取り組んでおり、施設の管理運営に求められる水準は維持されている。また利用者満足度調査でも「満足」以上が平均して98.6%となっており、利用者からも評価を得ている。 利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大幅に利用者が減少したが、その後回復を続けていることに加え、集客に向けて様々な取組を行っているため、令和6年度以降は利用者数の増加を見込み、前述のとおり利用者からの評価は高い。また、指定管理者の運営努力により毎年度の支出を抑えながらも、施設の老朽化に対応し、小規模な修繕を計画的に実施できていることから、指定管理者制度による管理運営は有効に機能していると判断できる。 このため、引き続き指定管理者制度による管理運営を行う。</p>	B	A	C	S	A	A	<p>(利用状況) □新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度を底に利用者が大幅に減少したが、R3、R4年度は感染症対策を徹底するなど対応に努めた結果、着実に利用者数を回復させている。R5年度については、学校利用の減少によりコロナ前の水準へは戻っていないものの、過去利用団体へのPRなどに努め、回復傾向は継続している。 □ホームページ、広報誌等を媒体とした広報活動に積極的に取り組み、地元広報誌やインターネットなど複数媒体での発信を強化している。</p> <p>(収支状況) □新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、R2年度には利用料金収入が目標の11.5%まで低下しているが、利用者からの意見・要望を積極的に取り入れて運営を改善することで、利用者数の回復を進め、R5年度には目標の68.9%となっている。 □大幅な収入減の中で、施設修繕の計画精査など支出抑制を行い、経費節減に努めている。</p>